

サツマイモのカルテック栽培

(10アール当り)

| 項目 | 時期・方法 | 資材の使い方 |
|---------|-----------------------------|--|
| 育苗 | 床土 10平米 (イモ10アール分) | 畑土 (山土) 1000リットル 堆厩肥 1000リットル 硫安 1kg 畑のカルシウム 1kg ラクトバチルス 100g ※濃縮酵素液、カルテックCa液状で調整する。 |
| 本圃の地力作り | なるべく早く (植付けまでに20日以上おくこと) | ラクトバチルス 600g… 保水性と通気性がよく、連作の効く地力を作ります 堆厩肥 500kg 硫安 20kg (もし通常の複合肥料なら、チッソ成分4kg程度) 畑のカルシウム 40kg ※特に堆肥不足の場合は、硫酸カリ 20kg (~40kg) 追加。 ※砂地の場合は、硫安 40kgとし、施すなら 硫酸カリも40kg。 ※ラクト・バチルスにより植付け時の土壌EC:0.2以下となります。 |
| 整地時 | 整地前に全面散布 (または地力作り時に同時投入) | 畑のカルシウム 40kg (~60kg) ※上記の地力作り時に施してある場合は不要。 ※土壌pH:6.2を標準とし、高pHなら カルテックCa粒状。 |
| 定植後 | 定植後の灌水に | 濃縮酵素液 500倍 灌水… 強い根が出て4日以内に活着。イモの分化。 |
| 前期 | 定植後1ヵ月間 | 灌水時に、濃縮酵素液 1~2リットル (300倍前後) を加える。 ※生長が弱いのはほとんど根の障害ですから、濃縮酵素液を。 ※チッソが効き過ぎると、ツルの徒長、ゴボウ根や皮脈が多くなる。 ECを測定し、本当に肥料不足かどうか調べること。 ※チッソが効いてツルが伸びるようなら、カルテックCa液状 500倍の葉面散布。 |
| 後期 | 1ヵ月後以降 | カルテックCa液状 500倍で葉面散布…デンプンの転流、イモの肥大・充実促進 ※後半期にツルボケや、ツル先が元気に立上っている場合は、2回。 (特に紅赤、ベニアズマは注意) ※チッソの効きすぎ、過繁茂が顕著な場合は、畑のカルシウム 10~20kgを施用する。 ※早魃でシオレが目立つ場合は、濃縮酵素液 1500倍ほどで、軽く灌水する。(8月半ばまで) (特に高系、ベニコマチは注意) ※普通は、追肥は不要。砂地などで本当にチッソ不足の時だけ、硫安 10kgを施す。ただし、収穫期に近い場合は施さない。 |